議 事 日 程 第 6 号

平成31年3月22日（金）午前10時開議

（総務文教常任委員長報告）

日程第 1 議第 3号 米沢市職員の修学部分休業及び自己啓発等休業に関する条例の一部改正について

日程第 2 議第 4号 米沢市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について

（民生常任委員長報告）

日程第 3 議第 5号 米沢市介護保険料の減額の特例に関する条例の廃止について

日程第 4 議第 6号 米沢市地域包括支援センターの事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について

日程第 5 議第 7号 米沢市立病院使用料及び手数料条例の一部改正について

日程第 6 議第 8号 米沢市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例の設定について

（産業建設常任委員長報告）

日程第 7 議第 9号 権利の放棄について

日程第 8 議第10号 米沢市布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等を定める条例の一部改正について

日程第 9 議第11号 米沢市水道事業及び下水道事業運営審議会設置条例の設定について

（予算特別委員長報告）

日程第10 議第17号 平成31年度米沢市一般会計予算

日程第11 議第18号 平成31年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計予算

日程第12 議第19号 平成31年度米沢市後期高齢者医療費特別会計予算

日程第13 議第20号 平成31年度米沢市介護保険事業勘定特別会計予算

日程第14 議第21号 平成31年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計予算

日程第15 議第22号 平成31年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計予算

日程第16 議第23号 平成31年度米沢市物品調達費特別会計予算

日程第17 議第24号 平成31年度米沢市南原財産区費特別会計予算

日程第18 議第25号 平成31年度米沢市三沢東部財産区費特別会計予算

日程第19 議第26号 平成31年度米沢市水道事業会計予算

日程第20 議第27号 平成31年度米沢市下水道事業会計予算

日程第21 議第28号 平成31年度米沢市立病院事業会計予算

日程第22 議第29号 平成30年度米沢市一般会計補正予算（第7号）

日程第23 発議第2号 議第26号平成31年度米沢市水道事業会計予算に対する附帯決議

日程第24 発議第3号 国民健康保険税（料）引き下げのための国庫負担の増額を求める意見書の提出について

日程第25 発議第4号 米沢市議会基本条例の一部改正について

~~~~~

本日の会議に付した事件

議事日程第6号と同じ

~~~~~

出欠議員氏名

出席議員（23名）

1番	山	村	明	議員	2番	工	藤	正	雄	議員		
3番	堤		郁	雄	議員	4番	佐	藤	忠	次	議員	
5番	佐	藤	弘	司	議員	6番	山	田	富	佐	子	議員
7番	高	橋		壽	議員	8番	高	橋	英	夫	議員	
9番	齋	藤	千	恵	子	議員	10番	鈴	木	藤	英	議員
11番	皆	川	真	紀	子	議員	12番	成	澤	和	音	議員
13番	鳥	海	隆	太	議員	15番	中	村	圭	介	議員	
16番	海	老	名		悟	議員	17番	島	軒	純	一	議員
18番	小	久	保	広	信	議員	19番	太	田	克	典	議員
20番	我	妻	徳	雄	議員	21番	木	村	芳	浩	議員	
22番	相	田	克	平	議員	23番	島	貫	宏	幸	議員	

欠席議員（なし）

出席要求による出席者職氏名

市長	中川 勝	副市長	井戸 將悟
総務部長	後藤 利明	企画調整部長	我妻 秀彰
市民環境部長	堤 啓一	健康福祉部長	小関 浩
産業部長	菅野 紀生	地方創生参事	武発 一郎
建設部長	杉浦 隆治	会計管理者	猪俣 郁子
上下水道部長	宍戸 義宣	病院事業管理者	渡邊 孝男
市立病院事務局長	渡辺 勅孝	総務課長	安部 道夫
財政課長	遠藤 直樹	総合政策課長	安部 晃市
教育長	大河原 真樹	教育管理部長	渡部 洋己
教育指導部長	佐藤 哲	選挙管理委員会委員長	小林 栄
選挙管理委員会事務局長	村岡 学	代表監査委員	森谷 和博
監査委員事務局長	宇津江 俊夫	農業委員会会長	伊藤 精司
農業委員会事務局長	宍戸 徹朗		

出席した事務局職員職氏名

事務局長	高野 正雄	事務局次長	三原 幸夫
庶務係長	金子 いく子	議事調査係長	渡部 真也
主査	堤 治	主事	齋藤 拓也

午前 9時59分 開 議

- 島軒純一議長 おはようございます。
ただいまの出席議員23名であります。
直ちに本日の会議を開きます。
本日の会議は議事日程第6号により進めます。

.....

日程第1 議第3号米沢市職員の修学部分
休業及び自己啓発等休業に関する
条例の一部改正について外
1件

- 島軒純一議長 日程第1、議第3号米沢市職員の
修学部分休業及び自己啓発等休業に関する条例の
一部改正について及び日程第2、議第4号米沢市
基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改
正についての議案2件は、議事の都合により一括
議題といたします。

この場合、総務文教常任委員会における審査の
経過と結果について報告願います。

総務文教常任委員長 5番佐藤弘司議員。

[総務文教常任委員長 5番佐藤弘司議員登壇]

- 5番(佐藤弘司議員) おはようございます。

それでは、御報告申し上げます。

去る2月28日の本会議において、当委員会に付
託されました案件は、議案2件であります。

当委員会は、議会日程に従い、5日午前10時か
ら委員会室において、全委員出席のもと、関係部
課長の出席を求め、開会いたしました。

以下、審査の経過と結果について御報告申し上
げます。

初めに、議第3号米沢市職員の修学部分休業及
び自己啓発等休業に関する条例の一部改正につい
てであります。本案は、学校教育法の一部改正
に伴い、所要の改正を行おうとするものでありま
す。

本案に対し、委員から、この条例に基づく休業
を取得した職員の人数についてただされ、当局か
ら、修学部分休業については1名、自己啓発等休
業についても1名であるとの答弁がありました。

また、委員から、休業して就学等を経験した後、
現在どのように職に当たっているかとの質疑があ
り、当局から、修学部分休業を取得した職員は、
就学によって学んだ成果を職務に生かしている。
また、自己啓発等休業を取得した職員は、現在は
在職していないとの答弁がありました。

さらに、委員から、本市として職員にこの制度
による休業を勧めるようなことはしているかとた
だされ、当局から、自己啓発等休業については、
休業の間、一切の給与が出ない上、共済費の支払
いが発生するため、経済的な負担が大きく、制度
ができた当初は周知していたが、現在では積極的
に勧めることはしていないとの答弁がありました。

また、委員から、職員の専門性を高めるために、
共済費を支援するなど、市独自で自己啓発等休業
の取得を後押しする考えはないかとの質疑があり、
当局から、公務に従事せずにはほかの活動をして
いる者に対して給与を支払うことは法律上難しいが、
当該制度について、国の動向等を注視しながら、
将来的にそうした経済面での支援もできるよう
になれば対応してまいりたいとの答弁がありました。

さらに、委員から、専門職の職員の専門性を高
める方策をどう考えているかとの質疑があり、当
局から、業務に必要となる専門的な知識は、職員
研修として専門機関等へ派遣することにより習得
させているとの答弁がありました。

本案については、意見もなく、全委員異議なく、
原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第4号米沢市基金の設置、管理及び処
分に関する条例の一部改正についてであります。本
案は、森林環境譲与税基金を設置しようとする
ものであります。

本案に対し、委員から、森林環境譲与税を活用
して行う森林整備等の対象となる森林所有者の数

ない。本市として、介護予防等により要介護度が上がらないように取り組み、市民の健康長寿につながることによって、保険料の抑制に努めていかなければならないと考えているとの答弁がありました。

採決に当たっては、介護保険の保険料及びサービス利用者負担の軽減措置を考えていくべきであるが、本条例は平成15年度から平成17年度までの分の保険料の減額に関するものであることから、その廃止に賛成するとの意見がありました。

本案については、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第6号米沢市地域包括支援センターの事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正についてであります。本案は、介護保険法施行規則における主任介護支援専門員の定義規定が、資格取得後5年ごとの更新研修を修了している者に限ると改正されたことに伴い、条例における主任介護支援専門員の規定を同様のものとする所要の改正を行おうとするものであります。

本案に対し、委員から、本市における主任介護支援専門員の人数と充足状況はどうかとの質疑があり、当局から、本市内における人数については、資格はあっても実際業務に従事していない方や、市外に勤務する方もいるため把握していない。なお、本市に設置している地域包括支援センターでは、配置基準の5人に対して合計9人が勤務しており、今のところ充足しているのではないかと考えているとの答弁がありました。

本案については、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第7号米沢市立病院使用料及び手数料条例の一部改正についてであります。本案は、米沢市立病院と地域の診療所等の連携と機能分担をより一層推進し、市立病院勤務医の業務負担の軽減及び救急医療の確保を図るため、非紹介患者初診加算料の額の上限を、1,620円から5,000円に引き上げようとするものであります。

本案に対し、委員から、当加算料をことし7月1日から医科は3,240円、歯科は2,160円に設定したいとのことだが、なぜ条例では5,000円以内と規定するのかとの質疑があり、当局から、公立置賜総合病院において、平成30年に2度にわたって当加算料を引き上げた事例がある。医科における当加算料を、1度目は1,620円から3,240円に、2度目は5,000円にしたものだが、1度目は非紹介患者数に変化が見られず、2度目の引き上げにより効果があらわれたというものである。当院においても効果があつた5,000円とすべきという考えもあつたが、市民理解が十分でないまま1,620円から5,000円とするのは適切ではないと判断した。そこで、ひとまず3,240円とし、それでも効果が見られない場合はすぐに5,000円の上限額で引き上げさせていただきたいということで、今回の提案をしたところである。また、国の動向により改定する必要が生じた場合にも、迅速に対応できるようにするため、このような提案となったものであるとの答弁がありました。

また、委員から、当加算料の目的などを市民が納得するように周知してほしいがどうかとの質疑があり、当局から、当加算料は、当院勤務医の負担軽減を目的としているので、かかりつけ医から紹介されて受診していただくような呼びかけを広報よねざわやウェブサイトに掲載するほか、院内にも掲示するなど、さまざまな方法で丁寧に周知、説明していきたいとの答弁がありました。

これに関連し、委員から、広報・ウェブサイトへの掲載、院内掲示といった一方通行のお知らせだけでは不十分ではないか。条例を改正してから実際に引き上げるまでの間は、各地区・町内会などの総会等が開催されると思われるので、そこに出向いて市立病院の現状などを説明し、理解を求めるといった方法も検討していただきたいがどうかとの質疑があり、当局から、町内会単位というのは職員の負担になるため、ある程度規模の大きな団体の総会等で説明できる機会があるならば検

討したい。市当局としても市立病院とともに市民への周知に努めたいと考えているとの答弁がありました。

さらに、委員から、当加算料の引き上げや市立病院の現状の説明などによって、市民が、市立病院で医療を受けられなくなってしまうのではないかと不安を感じることがないよう、地域の診療所等の態勢をきちんと整備していくことが重要ではないかとの質疑があり、当局から、先月、米沢市立病院と地域の医療機関との連携強化を図る地域医療ネットワーク会議を開催し、当院の現状や今後目指す姿を説明したところ、地域の診療所等からは、当院との機能分担に一定の理解が示された。今後も同会議を開催していくことで一致したので、そのような場での議論も踏まえ、市民への周知や本市の医療のあり方について引き続き検討していきたいとの答弁がありました。

そのほか、委員から、市立病院と同規模の病院における当加算料の金額は幾らか。それから、当加算料を加算した患者の割合はどれくらいかとの質疑があり、当局から、県内には同規模の病院は少なく、宮城県や福島県の同規模の病院の事例では、いずれも3,240円以上である。また、平成30年4月から平成31年1月までの初診患者の延べ人数は1万1,984人で、そのうち当加算料を算定した延べ人数は3,200人であり、割合としてはおよそ3分の1となるとの答弁がありました。

これに対し、委員から、その3,200人が紹介状を持たずに市立病院を受診する理由をどのように分析しているのか。中には、市立病院ではなく、地域の診療所等でも対応できるのではないかと考えられる人もいるのかとの質疑があり、当局から、紹介状を持たずに受診する理由の分析は行っていない。ただし、個々の場合にもよるが、その患者にかかった医療費に着目すると、それほど高額でもない方は地域の診療所等でも対応可能ではないかと推測することができ、そのような方は現在の通院者の2割程度いると分析しているとの答弁が

ありました。

さらに、委員から、紹介状を持たずに受診した3,200人の中には、自分の症状は地域の診療所等では対応できないのではないかなどと考えて市立病院を受診した方もいると思うが、そのような方に対しても引き上げた加算料は請求するのか。また、今回の提案は、病院経営に資するため、引き上げた分の収入を目当てにしているものではないということでのいかとの質疑があり、当局から、個別の事案には丁寧に対応していく考えである。また、差額の収入を期待しているものではなく、今回の提案の大前提となっているのは、医師負担の軽減と救急医療の機能の維持である。当加算料の引き上げは、当院勤務医と地域の診療所等の医師の連携・役割分担により当院勤務医の負担軽減を図り、その患者に適した受診のあり方を追求していくための手段である。そのことを市民に周知し、趣旨を理解してもらえるように努めていきたいとの答弁がありました。

そのほか、委員から、今回の引き上げについては、厚生省令等の規定により、地域医療支援病院のうち許可病床数500床以上の病院が当加算料を5,000円以上請求するとされていたところ、平成30年4月に400床以上と対象病院が拡大され、その傾向が今後も続くと考えられる一方、許可病床数322床の市立病院が来年4月に地域医療支援病院の承認を目指している背景もあると理解している。市立病院が地域医療支援病院になることでどのようによくなるのかということが市民に伝わらないと、市立病院の現状に対する市民理解も進まないと思うがどうかとの質疑があり、当局から、地域医療支援病院となって紹介患者がふえれば、患者の待ち時間が短縮されると見込まれるほか、地域の診療所等のかかりつけ医が当院の医師とともに診療や検査、手術などをできるようになる。そして、当院は新たな検査等をせず済むことから効率的であり、より専門的な医療を提供することができるようになるので、医療の質が向上して患者の利

便性も高まると考えられるとの答弁がありました。

採決に当たっては、現在市立病院で考えている3,240円とするよりも幅を持たせた金額に改正することによって、さらなる引き上げが必要と判断された場合に、議会において市民の立場で議論をする機会が失われる上、当加算料の引き上げは、確かに非紹介患者数を減少させ、医師の負担を軽減させる効果があるかもしれないが、市立病院の現状をさらに周知していくとともに、非紹介患者をどのように地域の診療所等のかかりつけ医へ向けさせるかという方策を示すべきとして、本案に反対との意見。

提案の5,000円という上限の中で、ことし7月から3,240円に設定する考えとのことであるから、さらなる引き上げを検討する段階においても市民にきちんとお知らせができるよう、議会に報告、相談することを要望するが、市立病院の医師が厳しい労働環境の中で働いているのは十分承知しており、その負担軽減を考慮すべきとして、本案に賛成との意見。

地域医療を支え、医師の負担軽減を図るためには、市民の協力が欠かせないということをさらに周知し、市民との意見交換をする努力を求め、当加算料の算定は、医師の負担を軽減し、地域医療を支える点からも必要な措置であると考え、本案に賛成との意見に分かれましたので、起立採決を行ったところ、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第8号米沢市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例の設定についてありますが、本案は、障がいを理由とする差別の解消の推進に関し、基本理念を定め、市の責務並びに市民及び事業者の役割を明らかにするとともに、障がいを理由とする差別の解消に向けた施策の基本となる事項を定めようとするものであります。

本案に対し、委員から、条例の前文に「なせば成る」の精神をもって」との文言を使用した理由は何か。精神主義で解決できない課題もあるの

ではないかとの質疑があり、当局から、「なせば成る」という言葉は米沢の精神文化を代表する人物である米沢藩中興の祖上杉鷹山公の言葉であり、米沢らしさを表現できるとともに、強い意志を持って事に当たれば大抵のことはなし遂げることができるという意味から、障がいを理由とする差別の解消を推進していく決意をあらわしたものであるとの答弁がありました。

また、委員から、新たに設定する条例の目的を達成するため、現状よりも踏み込んだ支援を市は行うべきではないかとの質疑があり、当局から、どのようなことが差別に当たるのか、市民に広く認識してもらえよう広報及び啓発を行い、特に学習及び理解の促進に取り組んでいく。また、就労の支援として、公共職業安定所などと連携していくほか、米沢市地域自立支援協議会において、就労系障害福祉サービス事業所の紹介パンフレットを作成しているところなので、そのパンフレットによって広く市民に、各事業者が提供できる物品や役務を知ってもらうことで、その利用を広げ、障がい者の就労を支援していく。また、新年度は、障害者週間に合わせて障がい者芸術作品展を開催し、障がいを持つ方が制作した芸術作品を市民に見ていただくとともに、その販売につながる取り組みも予定しているとの答弁がありました。

本案については、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、当委員会に付託されました議案4件の審査の経過と結果を申し上げ、委員長報告といたします。

○島軒純一議長 ただいまの民生常任委員長報告に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

民生常任委員長報告中、異議のありました議第

7号の議案1件を除く、議第5号、議第6号及び議第8号の議案3件を委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 御異議なしと認めます。よって、議第5号、議第6号及び議第8号は、委員長報告のとおり決まりました。

次に、異議のありました議第7号の議案1件について採決いたします。

議第7号に対する委員長報告は、賛成多数で原案可決であります。

お諮りいたします。

議第7号を委員長報告のとおり決するに賛成の議員は御起立願います。

〔賛成者起立〕

○島軒純一議長 起立多数であります。よって、議第7号は委員長報告のとおり決まりました。

.....

日程第7 議第9号権利の放棄について外 2件

○島軒純一議長 次に、日程第7、議第9号権利の放棄についてから日程第9、議第11号米沢市水道事業及び下水道事業運営審議会設置条例の設定についてまでの議案3件は、議事の都合により一括議題といたします。

この場合、産業建設常任委員会における審査の経過と結果について報告願います。

産業建設常任委員長15番中村圭介議員。

〔産業建設常任委員長15番中村圭介議員登壇〕

○15番（中村圭介議員） 御報告申し上げます。

去る2月28日の本会議において、当委員会に付託されました案件は議案3件であります。

当委員会は、議会日程に従い、7日の午前10時から委員会室において、全委員出席のもと、関係部課長の出席を求め、開会いたしました。

以下、審査の経過と結果について御報告申し上げます。

初めに、議第9号権利の放棄についてであります。本案は、契約の解除に伴う違約金を請求する権利を放棄するものであります。

本案に対し、委員から、本案に係る建設工事請負契約において前金払いはあったのかとただされ、当局から、米沢市契約規則において請負代金額が130万円を超え、履行期間30日以上を保証事業会社の保証に係る公共工事の場合は、請負代金額の一部を前金払いすることができるが、本案に係る建設工事請負契約の請負代金額は100万4,400円であるため、前金払いすることができないものであるとの答弁がありました。

また、委員から、受注者の経営状況を事前に把握することで、経営悪化による工事不履行を未然に防げたと思うが、防止策はないのかとただされ、当局から、入札参加資格審査申請時に申請業者の経営状況は把握しているが、入札時の経営状況については入札辞退届による申告制としているため、事前に把握するのは難しいとの答弁がありました。

本案については、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第10号米沢市布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等を定める条例の一部改正についてであります。本案は、学校教育法の一部改正による専門職大学の創設と技術士法施行規則の一部改正による技術士試験の選択科目の見直しに伴い、本条例で定める布設工事監督者及び水道技術管理者に必要な資格基準について、所要の改正を行うとともに、規定の整備を図るものであります。

本案に対し、委員から、上下水道関係の専門職大学はどこにできるのかとただされ、当局から、現時点では上下水道関係の専門職大学の創設は予定されていないが、今後、上下水道関係の専門職大学が創設された場合に対応できるよう、条例の一部を改正するものであるとの答弁がありました。

また、委員から、ほかの自治体でも条例で資格要件を定めていると思うが、本市とほかの自治体で資格要件に違いはあるのかと質疑があり、当局から、ほかの自治体の状況は確認していないが、地方分権一括法制定の際、各自治体の資格要件は政令で定められた資格を参酌して条例を定めることになっていたことから、本市の場合は政令どおりの資格要件としていたものであるとの答弁がありました。

本案については、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第11号米沢市水道事業及び下水道事業運営審議会設置条例の設定についてであります。本案は、米沢市下水道事業運営審議会及び米沢市水道事業等運営審議会を統合し、新たに米沢市水道事業及び下水道事業運営審議会を設置するものであります。

本案については、質疑や意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、当委員会に付託されました議案3件の審査の経過と結果を申し上げ、委員長報告といたします。

○島軒純一議長 ただいまの産業建設常任委員長報告に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

議第9号から議第11号までの議案3件を委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 御異議なしと認めます。よって、議第9号から議第11号までの議案3件は、委員長報告のとおり決まりました。

日程第10 議第17号平成31年度米沢市一般会計予算外12件

○島軒純一議長 次に、日程第10、議第17号平成31年度米沢市一般会計予算から日程第22、議第29号平成30年度米沢市一般会計補正予算（第7号）までの議案13件は、議事の都合により一括議題といたします。

この場合、予算特別委員会における審査の経過と結果について報告願います。

予算特別委員長 9 番齋藤千恵子議員。

〔予算特別委員長 9 番齋藤千恵子議員登壇〕

○9 番（齋藤千恵子議員） 御報告申し上げます。

本日は、去る2月28日の本会議で、当予算特別委員会に付託されました議第17号平成31年度米沢市一般会計予算から議第28号平成31年度米沢市立病院事業会計予算までの当初予算12件及び3月11日の本会議で、当予算特別委員会に追加付託されました議第29号平成30年度米沢市一般会計補正予算（第7号）の補正予算1件、合わせて13件について御報告申し上げます。

当委員会は、議会日程に従い、8日から14日までの間の5日間にわたり、委員会室において、全委員出席のもと、当局から市長を初め副市長、教育長、病院事業管理者、関係部課長等にも出席を求め、審査を行うとともに、3月12日の質疑に関し、委員より発言取り消しの申し出がありましたことから、本日全委員出席のもと、発言の取り消しの申し出についてお諮りしたところ、これを許可することに決しました。

なお、各議案の内容につきましては、各議員御承知のことと存じますので、その説明を省略させていただきます。以下、審査経過の中でありました質疑、要望等の主なものと、その結果を取りまとめて御報告申し上げます。

まず、審査の都合上、平成31年度当初予算12件を一括議題とし、初めに副市長から予算の概要に

ついて、総務部長から人件費について、企画調整部長から行政事務共同処理分担金について、それぞれ説明を受け、審査を行いました。

これに対する総括質疑では、新年度一般会計予算が391億8,000万円と過去最高額ということだが、今後の財政見通しでは、来年度から7年連続で実質単年度収支がマイナス、経常収支比率も来年度から上昇傾向となっており、平成36年度に99.4%となることが示されている。今後の財政を考えるときには、公共施設のあり方を検討し、いかに公共施設を削減していくのが大切となってくることから、市民と膝を突き合わせて意見交換を行うなど、しっかりと個別の施設計画を立てて、新たな財政健全化策を計画すべきと考えるがどうかとして質疑がありました。

また、電算共同処理に係る置賜広域行政事務組合分担金が大き額となっている。他市町と事務の方法等が相違していることにより共同処理ができないというような話を聞いているが、大きく異なるわけではないとも聞いている。そこを改善して一緒に処理ができれば、今後分担金も少なくなると思うが、検討をお願いしたいとして質疑、要望がありました。

第2款総務費では、LED公衆街路灯設置費補助事業は、平成24年度から開始し、平成31年度までで終了する計画であるため、大きな町内会では計画的に設置を行っているものの、平成31年度までに設置が100%にならない状況だと聞いている。例えば、通町町内には、米沢栄養大学や米沢女子短期大学があり、地元との交流の中で、道が暗いなどの意見があるが、平成31年度以降についてどのように考えているのかとして質疑がありました。

また、新年度予算に、公用車へのドライブレコーダーの購入費として141台分が計上され、貸し出しをしている除雪車両やコミュニティセンターの車両を含めて設置する予定であるとのことだが、設置した後に、防犯や犯罪抑制の意味からも、広報等で周知してほしいとして質疑、要望がありま

した。

さらに、まちづくり総合計画後期基本計画の策定の中で、住民等の意見を広く反映させるためにまちづくりフォーラムを開催するとのことだが、どのような目的でどのような効果を期待しているのか。参加要件等はこれから明らかになってくると思うが、昨今、30代、40代の方から、どんなまちづくりをしたいのかが見えないという話をよく聞くので、ぜひ青年団体の方も入れてほしいとして質疑、要望がありました。

また、米沢ブランド戦略事業において、オール米沢での取り組みであることをアピールしていくためには、ロゴマークを全庁的に使用して統一感を出していくことが効果的ではないかと思う。各部署で使用する封筒、職員の名刺、広報よねざわの表紙等へ継続的にロゴマークを使用し、市民や市民以外にも絶えずアピールすることが有効だと思うがどうかとして質疑がありました。

さらに、全国のコンビニエンスストア等のマルチコピー機で、マイナンバーカードを利用して、住民票の写し等の証明書が取得できるコンビニ交付サービスについて、事業内容を聞けば聞くほど、費用対効果の面では疑義が生じてくる。システムの構築等に特別交付税が交付されることによる財源面での優位性は理解できるとしても、マイナンバーカードの発行数を考えると、もう少し後に始めたほうが長い期間で見た場合にかえって有利ではないかと思うが、今実施しなければならない理由は何か。新庁舎の建設が始まると来客用駐車場の減少が見込まれることから、その対策にもなると考えているのであれば、マイナンバーカードを活用してコンビニ交付サービスが受けられることの周知を先行させてやっていくべきであるとして質疑、要望がありました。

第3款民生費では、「米沢市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」の制定に係る周知啓発事業において計画されている障がい者スポーツ教室や障がい者芸術作品展の開催は、ど

のような目的を達成するために、誰がどのように取り組み、進めていくのか。障がいのない人の理解を深めていくことが最大の目的だと思うので、単なるレクリエーションにならないよう周知啓発をしっかりと行ってほしいとして質疑、要望がありました。

また、寿山荘の代替事業である高齢者温泉利用福祉事業について、利用実績が低調であるため、事業者と打ち合わせをしてさまざまな企画や利用できる曜日の調整などを検討し、周知を図ってきたいとのことだが、温泉施設から大広間への移動は一旦外へ出ないと行けないことや緩やかな坂道があるなど、高齢者にとって使い勝手が悪いことが低調の原因ではないのか。高齢者の生活相談や健康相談の機能も有しているとのことだが、幾ら企画を考えても、高齢者等が足を運べるような施設にしていかなければ解決しないのではないかと思う。新年度どのように改善されていくのか期待しているとして質疑、要望がありました。

さらに、放課後児童クラブについて、単純に比較はできないものの、1施設当たりの受け入れ数によって公費負担の内容が変わってくるとのことなので、今後は学校の空き教室を使うなど、地域ごとにまとめていく必要があるのではないかと。放課後児童クラブの運営は、市で行ったほうが公費負担も少なくなると考えられるので、今後検討していただきたいとして質疑、要望がありました。

また、民間の保育所や幼稚園がある中で、市立保育所や児童センターは、行政が関与することによって民間ではできないサービスを受けることができるという違いがあると思う。子供の数が減ってきている中で、市立保育所や児童センターの利用者数も減ってきていると思うが、今後の課題についてどのように考えているのかとして質疑がありました。

第4款衛生費では、「安心して子供を産み育てられるまち」であるための医療における懸念材料は、産科・小児科の医師が少なく、医師の高齢化

も進んでいることとのことだが、市立病院がしっかりと小児救急やリスクのある産科を担うことが大事だと考えている。病院として予算に限りがあるということを考えれば、市当局が地域医療の中の政策として、市立病院に小児科医、産科医を拡充し、市が負担、補助することを考える必要があると思うがどうかとして質疑がありました。

また、本市斎場の耐震化については、まちづくり総合計画第2期実施計画の期間中に対応していくとのことであった。これから耐震診断の結果が出るということで、その結果次第では早急な改修の必要性や規模が決まってくると思うが、その改修は平成32年度までに実施するのかとして質疑がありました。

さらに、マイクロプラスチックについて、全国的に見るとペットボトルの9割が回収され、リサイクル率は約85%になるという統計があり、本市も同じくらいのリサイクル率になっているようだが、最上川上流部の住民として、プラスチックをなるべく出さない努力が必要だと考える。国は2月に脱プラスチックを進めるという閣議決定をしており、本市としてもプラスチックをできるだけ使わない、出さない、そして再利用をすることが大事だと思うが、庁舎の中で減らす努力も含め、どのように進めていくのかとして質疑がありました。

第5款労働費では、雇用安定対策に係る予算は前年度とほぼ同額であり、労働福祉向上対策にあっては貸付金が1,000万円ほど減っている状況にあるが、この内容で雇用の安定が図られると考えているのか。労働諸費をなぜ設けているのかしっかりと考えていただき、事業名に即した内容に見直してほしいとして質疑、要望がありました。

第6款農林水産業費では、来年度予算の中にはタブレット利用による現地確認システムやスマート農業関係は含まれているのか。また、今後の取り組み予定はどうなっているのか。このような技術は、普及が進めば進むほど補助金が減額された

り、あるいは補助がなくなっていく傾向がある。普及させるための財政負担も大きくなるので、補助事業となっているスマート農業については、早いうちに勉強会・講習会を開くなど見識を広げてもらう取り組みを行い、普及に努めてほしいとして質疑、要望がありました。

また、近年、法人の農業への新規参入が全国的にふえている。平成21年の農地法改正により、農地のリース方式が導入されたことが一番の原因のようだが、本市における実績はどうか。これからの農地の保全、農業生産、後継者の問題において、法人の新規参入は有効な対策の一つと農林水産省も見ており、本市としても積極的に取り組むべきものと思うがどうかとして質疑、要望がありました。

さらには、地産木材使用住宅等建築奨励事業費補助金の平成30年度実績及び利用者の年代はどうなっているのか。若い世代の支援になるような補助が有効だと考えるがどうかとして質疑がありました。

第7款商工費では、平成27年に米沢市中小企業振興条例を制定し、平成30年には条例を具体的に進めていくための米沢市中小企業振興アクションプランを策定しているが、その中で市が取り組むべき役割として、中小企業の経営の革新及び創業を促進すること、形成基盤を強化すること、経済的・社会的環境の変化への適応を円滑にすることなどが盛り込まれている。市として、企業を訪問し、現状を把握しているとのことだが、それぞれの状況を勘案し事業に取り組んでほしい。中小企業の活性化のための目標の一つは、大学卒業者を雇えるような求人の部分までつなげていくことと捉え、大学を卒業して本市に戻りたいと思える受け皿となる企業が一つでも多く誕生するような体制づくりに取り組んでいただきたいとして質疑、要望がありました。

また、(仮称)吾妻山縦走ルート活用事業のルートはどのようなもので、本市の受け入れ態勢は

どのようになっているのか。PR用にドローンを活用して動画を撮影するなど、今までにない視点で吾妻山の魅力を発信してほしいがどうかとして質疑がありました。

さらに、道の駅米沢の来場者が161万人となったとの話があった。決算においても、昨年の累積損失3,000万円を解消して黒字化になる予定とのことだが、今後、道の駅米沢だけが利益を出すのではなく、市内各所へのゲートウェー機能を果たすとともに、黒字が確保できるのであれば、指定管理料を減らして自立的な経営を促す必要があると思うがどうかとして質疑がありました。

第8款土木費では、空き家には幾つかのランクがあると思うが、空き家の管理状況や建築年数等は把握しているのか。空き家が近くにあり、さまざまな弊害が起り得る場合や当事者同士で解決できない場合等の市民相談の受け付け体制はどうなっているのかとして質疑がありました。

また、一昨年開通した東北中央自動車道大笹生インターチェンジ、米沢北インターチェンジ間のこれまでの通行どめの回数及び時間は、29回、延べ55時間になっているとのことだが、通行どめを防ぐための対策について、国土交通省とどう協議していくのかとして質疑がありました。

さらに、市営住宅について、本市においても外国人技能実習生がふえているが、入居する場所がなかなか見当たらないとのことである。今後生産年齢人口が減り、市内でも外国人技能実習生がふえてくると思われることから、入居できるのであれば、外国人技能実習生の入居先として市営住宅をもっと活用すべきと考えるがどうかとして質疑がありました。

第9款消防費では、平成29年に水防法の改正があり、市は地域防災計画に浸水想定区域内の社会福祉施設や学校、医療施設等を要配慮者利用施設として定め、洪水予報等の伝達方法を記載することとされ、その施設は避難確保計画の作成と訓練が義務づけられた。本市では、県が進めてきた浸

水想定区域について、今月末に公表される予定であることから、それを受けて新たなハザードマップの作成と地域防災計画も見直しし、要配慮者利用施設も定めたいと考えているようであるが、県が平成29年に羽黒川流域の浸水想定区域を公表しているにもかかわらず、本市のハザードマップは平成17年のままであり、羽黒川の西側エリアの浸水想定もされていない。県が公表した浸水想定区域には、米沢駅や羽黒川東側が含まれており、多くの避難所やそこに行くための道路も浸水が想定されている。だからこそ、本市の危機管理として、一日も早く改定して市民に周知しなければいけないのではないかと。夏の降雨期前までにはスピーディーな対応をしてほしいとして質疑、要望がありました。

第10款教育費では、小学校の適正規模・適正配置について、複式学級のある小学校から地元代表者協議会を立ち上げるとのことだが、協議会の立ち上げについて地元の主体性に任せるとのことになると時間がかかるので、市からしっかりと働きかけを行い、議論を進めてほしいとして質疑、要望がありました。

また、準要保護児童生徒援助費について、入学準備のために多額のお金を用意しなくても済むよう入学前の支給を提案してきたが、その回答は毎年、課題解決に向けて前向きに検討していきたいとのことである。いつごろをめどに実施する予定なのかとして質疑がありました。

さらに、本年の4月に南原中学校と第二中学校が統合されるが、統合の形態として、南原中学校だけでクラスを組むのか、各クラスに分かれるのか。また、統合に向けて教室を改装したところはあるのかとして質疑がありました。

また、上郷、窪田、田沢の3つの地区のコミュニティセンターを防災センターとして整備していくようだが、その後のコミュニティセンターの建てかえにも同じ考えで計画しようと考えているのかとして質疑がありました。

さらに、新年度から体育担当がスポーツ課になり、担当もスポーツ推進担当と健康スポーツ担当に分かれるが、それぞれの担当業務は競技スポーツと生涯スポーツというイメージでよいのか。また、市民総合体育大会等は単純に競技スポーツだと参加者が集まりにくいところがあるので、なるべくたくさんの方が参加できるような競技を実施してほしいがどうかとして質疑がありました。

歳入では、法人市民税に関し、今後も事業所数が変わらないものと予算上見ているとのことであるが、市内の事業所が減っているのは事実であり、商工会議所の会員事業所も年々すごい勢いで減っている。事業継承ができないことも問題であるが、人口が減っていることが事業継承の困難さを生んでいるし、事業所・従業員が減ることにもなる。従業員の住民税にもはね返ってくることから、今後市税の減少がすごい勢いですぐにも始まる可能性があるということである。これから先、人口が減っていくペースを考えたときに、法人市民税と個人市民税はどのようになると考えているのかとして質疑がありました。

以上が、議第17号平成31年度米沢市一般会計予算に対する審査の中でありました質疑・要望等の主なものでありますが、採決に当たっては、新年度予算については10月からの消費増税を盛り込んだ予算となっており、本市においても、公共施設の使用料等の引き上げが予定されていると思う。消費税については逆進性等の問題があるとともに、このたびの増税においては、消費税率が複数となること、地域経済が冷え込むことなどの問題点があるため、増税が転嫁されている予算案は認められない。

また、コンビニ交付サービスの導入について、議会への詳しい説明がなかったことに加え、特別交付税措置は導入及び3年間の運営経費の合計額の2分の1だけであり、その費用を勘案すると、交付税を受けなくても3年間導入を先延ばしすれば、交付税分を吸収できると考える。年間利用者

の根拠も明確でなく、マイナンバーカードを所持しているかどうかでコンビニ交付サービスを利用できるかが左右されるのも問題である。今後の財政見通しにおいて、新年度から7年間は実質単年度収支がマイナスになることも踏まえ、不要不急の事業は控えるべきであり、その意味でも、コンビニ交付サービス事業は慎重な検討が必要であることから反対との意見がありましたので、挙手による採決を行った結果、賛成多数で、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

続いて、議第18号平成31年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計予算から議第28号平成31年度米沢市立病院事業会計予算について御報告申し上げます。

まず、議第18号平成31年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計予算では、国の財政支援として全国で3,400億円が投入されたということであるが、この支援の趣旨は、市町村国保の保険料が高過ぎるという実態があつて、加入者に還元するために使うというものである。新年度においては、中間所得層の増税感の緩和のため、課税限度額が引き上げられるようであるが、まさに中間所得層は子育て世帯であり、子育て世代の支援に使うべきである。これまで、子育て世帯の均等割の軽減を行うべきだと言ってきたが、他市においても実施しているような、市長の裁量による均等割の軽減はできないのかとして質疑がありました。

次に、議第20号平成31年度米沢市介護保険事業勘定特別会計予算では、地域づくり型運動教室は、地域ごとのサークル形成のためのものだと思うが、立ち上げに対して何らかの支援がないと難しいと思う。介護予防としてはある意味画期的な事業なので、運営支援も含めてぜひ検討していただきたいとして質疑、要望がありました。

次に、議第21号平成31年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計予算では、山形市にある株式会社山形県食肉公社のと畜場改築の際に、県内のと畜場を1カ所にしたいという考え方があると聞い

た。米沢牛を守るために本市のと畜場を必ず守ってもらいたいと思うが、何か情報は得ているかとして質疑がありました。

議第24号平成31年度米沢市南原財産区費特別会計予算及び議第25号平成31年度米沢市三沢東部財産区費特別会計予算では、財産区については、将来的には地域で管理してはどうかと書いていたが、いつまで本市が管理していくのか。予算も大きい額ではなく、各地区の中で管理できるようなものであると思うので、地区に働きかけをしていくべきだと思うがどうかとして質疑がありました。

次に、議第26号平成31年度米沢市水道事業会計予算では、昨年の西日本豪雨で30万戸近い断水が発生し、そのほとんどが広島県に集中していた主な理由は、水源の確保が難しく広域水道に頼らざるを得なかったエリアだったということである。一本の水源に頼った結果が長期の断水を生むことから、安定的な水道水の供給のために、新たな自己水源を確保するなどの動きが他自治体で広がっている。本市の笹野配水池は土砂災害警戒区域にあり、笹野浄水場に至る道路は特別警戒区域に接しているなど、極めて危険な状況にある。想定外は起こり得るという前提のもとに、起こり得る最大の被害が発生した場合に向けてどのようにリスク分散を行っていくのか。専門家の意見を聞きながらさまざまな被害想定で館山浄水場がなくても大丈夫だ、なくても被害想定は同等だという結論に至った上での判断が必要だと思うがどうかとして質疑がありました。

また、人口の減少により、これから1人当たりの給水単価が高くなるので料金の引き上げは避けては通れないと思うが、値上げは何年後を想定しているか。現実を見つめ、お知らせすべきところは早目にお知らせするように願いたいとして質疑、要望がありました。

次に、議第27号平成31年度米沢市下水道事業会計予算では、農業集落排水の処理に相当の費用がかかっているが、その点の認識はどうか。また、

建設後20年が経過し、いろいろなふぐあいが出てきていることから、利用者の安全安心を確保するために、まちづくり総合計画第3期実施計画の策定の中で、必要な整備を進めていきたいとのことだが、もっと早くいろいろな改善案等を考え、進めてもらいたい。住民の方にとっても利益がないとなかなか進まない話だと思うので、知恵を絞って取り組んでほしいとして質疑、要望がありました。

次に、議第28号平成31年度米沢市立病院事業会計予算では、災害に備えたマニュアルと業務継続計画は作成しているのか。新病院建設基本計画では、災害拠点病院を目指しているが、災害拠点病院の場合は業務継続計画を細かく定めることとなっている。建てかえに合わせてではなく、できるだけ早くしっかりとした業務継続計画を策定してもらいたい、どのように考えているのか。また、備蓄の状況についてはどうなっているのかとして質疑がありました。

以上が、平成31年度の各特別会計予算及び企業会計予算の審査の中でありました質疑・要望等の主なものであります。

次に、審査結果についてであります。議第18号平成31年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計予算、議第19号平成31年度米沢市後期高齢者医療費特別会計予算及び議第20号平成31年度米沢市介護保険事業勘定特別会計予算の議案3件につきましては、異議がありましたので、挙手による採決を行った結果、賛成多数で、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

次に、議第21号平成31年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計予算から議第25号平成31年度米沢市三沢東部財産区費特別会計予算までの議案5件につきましては、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

次に、議第26号平成31年度米沢市水道事業会計予算の採決に当たっては、平成31年度の予算には、館山浄水場を廃止するに当たって、県企業局笹野

浄水場から受水する施設等を整備する事業費が含まれている。これまで上下水道部で経営の効率化に着目してきたことは評価できるが、他自治体における災害時のライフラインの確保のためのリスク分散や自己水源確保の取り組みに逆行しており、館山浄水場を廃止して大丈夫という高度な専門的な知見に基づくものなのか疑問に思う。館山浄水場の廃止は、リスク分散の観点から大変心配であり、経営の効率化に加え、リスク分散の視点も十分考慮して調査、検討してもらいたいことから、附帯決議の提出も考えつつ賛成するという意見があり、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

次に、議第27号平成31年度米沢市下水道事業会計予算及び議第28号平成31年度米沢市立病院事業会計予算の議案2件につきましては、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

次に、議第29号平成30年度米沢市一般会計補正予算（第7号）について御報告申し上げます。

第10款教育費では、上郷小学校の体育館は、まだ建設から9年ほどしか経過していないと思うが、そのつり天井を撤去するのはなぜかとして質疑がありました。

また、万世小学校体育館の雨漏りの現状と対策はどうなっているのか。工事が必要となれば財源を確保することが必要だと思うが、国の交付金を確保してから工事に取りかかるようでは、ことしの梅雨どきまでに補修が終わらないのではないかと思われる。国の交付金が活用できなければ、全額市費で対応することになるかもしれないが、今後の計画はどうなっているのかとして質疑がありました。

以上が、議第29号平成30年度米沢市一般会計補正予算（第7号）に対する審査の中でありました質疑であります。議第29号については、質疑もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

以上、当予算特別委員会に付託されました案件の審査経過の概要と結果を申し上げ、委員長報告といたします。

○島軒純一議長 ここで、暫時休憩いたします。

午前11時05分 休 憩

~~~~~

午前11時16分 開 議

○島軒純一議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

ただいまの予算特別委員長報告に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

予算特別委員長報告中、異議のありました議第17号から議第20号までの議案4件を除く、議第21号から議第29号までの議案9件を委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 御異議なしと認めます。よって、議第21号から議第29号までの議案9件は、委員長報告のとおり決まりました。

次に、異議のありました議第17号から議第20号までの議案4件について順次採決いたします。

初めに、議第17号について、起立により採決いたします。

議第17号に対する委員長報告は、賛成多数で原案可決であります。

お諮りいたします。

議第17号を委員長報告のとおり決するに賛成の議員は御起立願います。

〔賛成者起立〕

○島軒純一議長 起立多数であります。よって、議

第17号は委員長報告のとおり決まりました。

次に、議第18号について、起立により採決いたします。

議第18号に対する委員長報告は、賛成多数で原案可決であります。

お諮りいたします。

議第18号を委員長報告のとおり決するに賛成の議員は御起立願います。

〔賛成者起立〕

○島軒純一議長 起立多数であります。よって、議第18号は委員長報告のとおり決まりました。

次に、議第19号について、起立により採決いたします。

議第19号に対する委員長報告は、賛成多数で原案可決であります。

お諮りいたします。

議第19号を委員長報告のとおり決するに賛成の議員は御起立願います。

〔賛成者起立〕

○島軒純一議長 起立多数であります。よって、議第19号は委員長報告のとおり決まりました。

次に、議第20号について、起立により採決いたします。

議第20号に対する委員長報告は、賛成多数で原案可決であります。

お諮りいたします。

議第20号を委員長報告のとおり決するに賛成の議員は御起立願います。

〔賛成者起立〕

○島軒純一議長 起立多数であります。よって、議第20号は委員長報告のとおり決まりました。

.....

日程第23 発議第2号議第26号平成3
1年度米沢市水道事業会計予
算に対する附帯決議

○島軒純一議長 次に、日程第23、発議第2号議第26号平成31年度米沢市水道事業会計予算に対する附帯決議を議題といたします。

この場合、提出者から提案理由の説明を願います。

提出者15番中村圭介議員。

〔15番中村圭介議員登壇〕

○15番（中村圭介議員） ただいま上程になりました発議第2号議第26号平成31年度米沢市水道事業会計予算に対する附帯決議であります。本案につきましては、発議案を読み上げて提案理由の説明とさせていただきます。

〔別紙 発議第2号朗読〕

以上であります。議員各位の御賛同をお願い申し上げます。

○島軒純一議長 ただいまの提出者説明に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 質疑を終結いたします。

次に、議員間討議を行います。議員間討議の御希望はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 議員間討議の御希望がありませんので、議員間討議を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

発議第2号を原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 御異議なしと認めます。よって、発議第2号は、原案のとおり決まりました。

.....

日程第24 発議第3号国民健康保険税

（料）引き下げのための国庫負担の増額を求める意見書の提出について

○島軒純一議長 次に、日程第24、発議第3号国民健康保険税（料）引き下げのための国庫負担の増額を求める意見書の提出についてを議題といたします。

この場合、提出者から提案理由の説明を願います。

提出者7番高橋壽議員。

〔7番高橋 壽議員登壇〕

○7番（高橋 壽議員） ただいま上程になりました発議第3号国民健康保険税（料）引き下げのための国庫負担の増額を求める意見書の提出についてであります。本案は、国民健康保険税（料）引き下げのため国庫負担の増額を求め、政府に対し、意見書を提出しようとするものであります。

以下、意見書案を朗読して、提案理由の説明にかえさせていただきます。

〔別紙 発議第3号朗読〕

以上であります。議員各位の御賛同をお願い申し上げます。

○島軒純一議長 ただいまの提出者説明に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 質疑を終結いたします。

次に、議員間討議を行います。議員間討議の御希望はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 議員間討議の御希望がありませんので、議員間討議を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

発議第3号を原案のとおり決するに御異議あり

ませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 御異議なしと認めます。よって、
発議第3号は、原案のとおり決まりました。

.....

日程第25 発議第4号米沢市議会基本条 例の一部改正について

○島軒純一議長 次に、日程第25、発議第4号米沢
市議会基本条例の一部改正についてを議題とい
たします。

この場合、提出者から提案理由の説明を願いま
す。

提出者24番小島一議員。

〔24番小島一議員登壇〕

○24番(小島一議員) ただいま上程になりま
した発議第4号米沢市議会基本条例の一部改正
についてであります。本案は、議会報告会にお
いて、参加者に説明する内容についての規定を改
めるとともに、市民による政策の提案と位置づけ
る陳情についてより明確に規定し、さらに、議会
で行われた議案等の審議の過程結果の報告の態
様についての規定を改めるため、提案するもので
あります。

以上であります。議員各位の御賛同をお願い
申し上げます。提案理由の説明といたします。

○島軒純一議長 ただいまの提出者説明に対し、御
質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 質疑を終結いたします。

次に、議員間討議を行います。議員間討議の御
希望はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 議員間討議の御希望がありません
ので、議員間討議を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありません

ので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

発議第4号を原案のとおり決するに御異議あり
ませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 御異議なしと認めます。よって、
発議第4号は、原案のとおり決まりました。

.....

市長挨拶

○島軒純一議長 以上で、本定例会に付議されまし
た案件は全部議了いたしました。

閉会前に、市長から発言を求められております
ので、これを許可します。中川市長。

〔中川 勝市長登壇〕

○中川 勝市長 市議会3月定例会の閉会に当たり、
一言御挨拶を申し上げます。

去る2月25日に招集いたしました本定例会は、
本日、全日程を終了いたしました。26日間にわた
る会期中、提出いたしました案件につきまして、
終始真剣な御審議をいただき、厚く御礼を申し上
げます。

審議の過程で賜りました重要な御指摘、御意見
等につきましては、今後の市政執行に十分反映し
ていきたいと考えております。

ことは、新天皇即位により新しい元号に変わ
るという歴史の節目の年となります。また、本市
にとっても、市制施行130周年の年であるとともに、
上杉鷹山公の米沢入部250年に当たる記念の年で
あり、連綿と受け継がれてきた「なせば成る」の
精神、伝統と誇りを胸に、未来へ向けた新たな一
歩を踏み出すときという思いを抱いております。

本市の魅力を上向きさせるべく米沢ブランド戦略
をさらに推進し、にぎわいと交流の創出に努めて
いくとともに、健康長寿日本一を目指した取り組
みを進め、市民の皆様が「米沢のまちに住んでい

てよかった」と感じられるよう、全力で市政運営を行ってまいりますので、議員各位の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

本定例会は、議員各位におかれましては任期中最後の議会でありました。この4年間の市勢発展、市民生活向上に対する御尽力に深く敬意を表し、御礼の御挨拶の結びとさせていただきます。

まことにありがとうございました。

.....

議長挨拶

○島軒純一議長 高いところから甚だ失礼ではありませんけれども、一言御礼と御挨拶を申し上げます。

2月25日に開会いたしました3月定例会が、議員各位の熱心な御審議のもと、平成31年度予算を初め重要な案件を議了し、本日ここに閉会できますことに対しまして、心から御礼申し上げます。

この4年間を顧みますと、平成27年春の統一地方選挙において、市議会議員として市民の皆様から負託をいただき、以来多くの重要な課題に対し、その事業の有効性や経済性等について深い議論を重ねながら、市民生活の向上、市民の安全・安心、そして持続可能な米沢市を目指して、全議員で取り組んでまいりました。

この間の議会活動について例示いたしますと、財政健全化検討委員会を設置し、市の財政健全化計画に対し提言書を提出したこと、議員定数・報酬検討委員会において適正な議員定数・報酬額を検討し、議員報酬の削減につなげたこと、ペーパーレス会議システムを導入し、紙資源の有効利用、事務の効率化、議会活動・議員活動の活発化に寄与したこと、将来を担う中学生に対し、市議会の仕組みや活動の内容について理解を深め投票の大切さを知ってもらおうと、朗読劇による中学校出前市議会を開催したこと、さらに、総務文教、民生、産業建設の各常任委員会においては、後期の

2年間においてそれぞれがテーマを設定して活動を行い、政策提言書を取りまとめ、市長に提出したことなどが挙げられます。

おかげをもちまして、民間の調査による議会活力度ランキングにおいて、本市議会は、全国813市議会中42位、東北77市議会中3位、県内13市中1位となったところであります。

これらのことは、議員各位の御努力もさることながら、市民の皆様と当局の深い御理解、御指導、御協力があったものと、心より感謝申し上げます。

私たち議員は、今春の統一地方選挙で改選を迎えることとなりますが、今限りで御勇退される方々におかれましては、これまでの御活躍に対し敬意を表しますとともに、健康に留意され、市勢発展のためにさらなるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、今年度を最後に御退職される職員の皆様におかれましては、長い間、市民生活の向上のため粉骨砕身御努力いただきましたことに、心から敬意を表するものであります。今後とも、皆様の能力を市民生活向上のために生かしていただければ幸いです。

皆様にとって、第二の人生が素晴らしいものがありますことを心より御祈念申し上げます。

終わりになりますが、私は、一昨年5月臨時会におきまして議長に就任させていただき、今日まで皆様方の温かい御支援と御協力を賜り、その責務を果たすことができました。心から厚く御礼を申し上げます。

また、議会事務局職員各位にも、任期中支えていただきましたことに対し、あわせて感謝申し上げます。

今任期最後の定例会に当たり、皆様方に重ねて御礼を申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

まことにありがとうございました。

.....

閉 会

○島軒純一議長 以上をもちまして平成31年3月定例会を閉会いたします。

長期間にわたり大変御苦労さまでした。

午前11時40分 閉 会